

# みいけこう 三池港

所在地／大牟田市  
指定／世界文化遺産ほか



空から見た三池港（大牟田市広報課提供）



三池港を築いた団琢磨の像（新大牟田駅前）

三池炭鉱で掘り出されていた石炭は、多くが船で使うところまで運ばれていました。最初は大牟田港から船に積みこまれます。しかし、大牟田港がある有明海は、潮の満ち引きの差が激しく、水深が浅い所もあれば深い所もありました。これでは、石炭を運ぶ大きな船は、常に入ることができません。そのため三池炭鉱の石炭は、大牟田港からは小さな船で運び出され、別の港で大きな船に載せかえられていました。

中心部の入口には、大きな水門を設置し、満潮の時の海水が、干潮になってもそのまま港に残って深い水深を保てるようにしました。その結果、三池港は大きな船が常に泊まっていることのできる港となり、大量の石炭を直接大きな船に積み出せるようになりました。また税関の施設も建てられ、石炭を直接外国に輸出できるようになりました。

しかし、これでは時間も手間もかかります。そこで、当時三池炭鉱の指導者であった団琢磨は、新しい港を作ることになりました。1908年（明治43）に完成した三池港です。三池港ではまず、港から沖に出て行くまでの航路を堤防で挟み、航路の水深が深いままになるため土砂が流れ込まないようにしました。さらに船が接岸する中心部の入口には、大きな水門を設置し、満潮の時の海水が、干潮になってもそのまま港に残って深い水深を保てるようにしました。その結果、三池港は大きな船が常に泊まっていることのできる港となり、大量の石炭を直接大きな船に積み出せるようになりました。

三池港は現在、世界文化遺産に登録されましたが、現役の港としても使われています。

## 【もっとくわしく調べたい】

○大牟田市石炭産業科学館 福岡県大牟田市岬町 6-23 TEL 0944-53-2377

## 【三池港（三池港展望所）に行ってみよう】

○J・R・西鉄大牟田駅から西鉄バスで三川町1丁目下車

## 【三池港（三池港あいあい広場）に行ってみよう】

○J・R・西鉄大牟田駅から西鉄バスで三池港下車